



TITLE:

図書整理業務の飛躍的能率化 - ゼ
ロックスによるカード複製始まる -

AUTHOR(S):

CITATION:

図書整理業務の飛躍的能率化 - ゼロックスによるカード複製始まる - .
静脩 1964, 1(1): 6-7

ISSUE DATE:

1964-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36216>

RIGHT:

して包括的な目録ではない。巻末に目次、主題索引および著者索引がある。

- 国立国会図書館編 **各国原子力関係機関発行資料目録** 昭和38年3月末現在 第2巻 昭和39 341p

この目録は同館参考書誌部科学技術課において、1963年3月末日までに収集した原子力資料のうち、AEC リポートを除く、各国原子力関係機関のリポート8,421件を収録したものである。

- 神奈川県立金沢文庫編 **金沢文庫古文書** (第1—12輯) 索引 昭和39 354p

この索引はさきに刊行された金沢文庫古文書のうち、第1輯から12輯までの索引である。時代的には鎌倉時代、室町時代に属する文書の索引である。巻末に18頁にわたって古文書追加篇が添えられている。

- 小倉豊文編 **広島大学寄託加計隅屋文庫目録** 第1巻 昭和38 294p

加計隅屋文庫とは、広島県山県郡加計町の、通称加計隅屋こと(加計家)に代々伝わる古文書・古記録および新古の典籍あわせて数万点に達する文庫である。この目録第1巻は文書之部の鉄山関係資料の目録である。

- 前橋市立図書館編 **萩原朔太郎書誌** 昭和39年3月末現在 昭和39 137, 10p

この書誌は詩人萩原朔太郎の書いたものおよび朔太郎について書かれたものを、昭和39年3月末現在で網羅的に集めたものである。その点では一般の個人書誌とかわりないが、この書誌にはさらに別編として、自筆ノート・写真・遺蔵書などにかく朔太郎に関係あるものはすべて拾われている。

ルーマニアからの親善図書 300 冊余

一駐日大使から贈られる一

学術図書の交換を通じて親善をはかろうと、8月8日午前10時、ルーマニアのイオン・オブラドビッチ駐日大使とイオン・ニコラエ文化担当書記官が本学を訪れ、300点余の図書をおくられた。

これは昨年の8月15日、イオン・ニコラエ書記官と日ル友好協会鈴木四郎理事が京大を訪れたさいの、平沢前総長との間の話合いに基づいて、このたびわざわざ駐日大使が持参されたものである。

当日は折悪しく奥田総長は出張中であつたため、総長代理として藤本工学部長、それに堀江図書館長およびその他の関係者が出席して、総長室で贈呈式を行った。

贈呈を受けたルーマニア図書は、単行本201冊、雑誌105冊で、あわせて306冊。人文・社会科学から自然科学にわたり、ルーマニアにおける最新の学術文化の成果を示すものと言えよう。

図書館ではこれらの図書をひろく展示するため、9月29、30の両日にルーマニア図書展を開催する予定である。



(京都新聞社提供)

図書整理業務の飛躍的能率化

ゼロックスによるカード複製始まる

京都大学における年々の図書増加量は、別表にみるように、その伸びが著しい。これらの図書の多くは本館で目録作業が行われ、部局図書室に目録カードとともに返却される。しかし図書の増加にもかかわらず、これを整理するための人員の増加は実現しないので、現状のままでは必

京都大学における年々の図書増加量は、別表にみるように、その伸びが著しい。これらの図書の多くは本館で目録作業が行われ、部局図書室に目録カードとともに返却される。しかし図書の増加にもかかわらず、これを整理するための人員の増加は実現しないので、現状のままでは必

然的に図書の整理業務が渋滞し、教官・学生に不便をかけることになる。

このような問題を打開するために考えられることのひとつは、全学の図書整理業務組織を根本的に改変することである。しかしこれはなかなか困難であり、かつ焦眉の急の間に合わない。それで第2に考えられたのが、現在の組織のもとで、できる限りの能率化、とくに機械化による能率化である。

図書整理業務上の問題点のうちもっとも大きいのは、目録カードの複製である。原稿カードをそのままオリジナルにして、必要枚数のカードが迅速に複製できる方法について、前年度以来いろいろと検討してきたが、最終的に採用にふみ切ったのがゼロックス 914 電子複写機である。

しかし、ゼロックス 914 はもともと、カード用紙のような部厚い紙に複写することを目的としていない。それで、この便利な複写機でなんとかカードの複製ができないかということで、いろいろ検討のすえ、複製にやっと自信を持つことができるようになった。そこで9月1日から希望部に、ゼロックスによるカード目録を配布することになった。ゼロックスの活動開始により、本学における図書整理業務は、いちだんの飛躍が期待されている。

年 度	35	36	37	38
年間増加冊数	50,714	57,292	68,772	69,184

ご 利 用 下 さ い

文 献 複 写 室

付属図書館の地階にある文献複写室では、学術研究を目的とする複写であれば、学内各部署の図書室所蔵の文献はもとより、他大学への複写申込みも受付けております。申込方法は、当室備付けの申込書に記入していただければ、原本所在場所を調査し、複写いたします。

現在行っております複写は、ネガフィルムに撮り、ポジフィルム、あるいは、引伸印画にする方法です。もちろんネガフィルムだけでもお渡しいたしますし、ネガフィルムを持参されれば、それをポジフィルム、または印画焼付もいたします。引伸印画のサイズは、キャビネ判、A5判、B5判、A4判の4種類あり、ご希望のサイズにいたします。

現物の送付を希望される場合には、複写料金に送料をプラスしていただければ、お送りいたします。支払は現物と引きかえて、現金または校費（校費は移算による）でしていただきます。複写実費額は次頁別表に示す通りです。

学外からのお申込みは、所属機関（大学・研究所の図書館）を通して、文書で当文献複写室宛お申込み下されば、複写して送付いたします。

もう一つ現在行っております複写は、いわゆる青写真で、学内の講師以上の方の申込みに応じており、講義用のテキストとして使用されるものに限ります。これは最初の申込みは、5部以上、その後、追加される場合は、1部から受付けます。

受付時間は 月曜日・金曜日・午前9時より午後5時まで（但し12時より1時迄休憩）
土曜日・午前9時より正午まで。